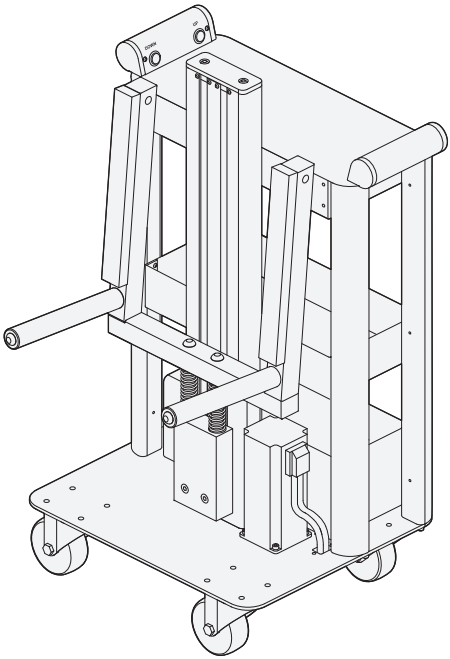
KTC

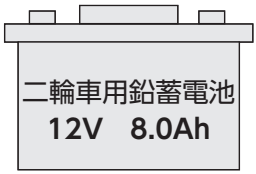
このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

タイヤリフター
No.AWL101
取扱説明書

業務用



※バッテリーは同梱しておりません。
以下の仕様のバッテリーをご購入ください。



x 2 個必要

●梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

●この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。

販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社
〒613-0034　京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口　0774(46)4159　FAX 0774(46)4359

お電話での受付時間は 10:00~12:00 / 13:00~16:00
（土・日・祝日及び弊社休業日は除く）

UJ-72-003-2

MADE IN CHINA　※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

もくじ

梱包内容

■梱包内容 - 03
■オプション品 - 04

製品仕様

■製品寸法 - 05
■本体 - 06
■充電器 - 07

お使いになる前に

■バッテリーに関するご注意 - 08
■安全シグナルについて - 08
■安全上のご注意 - 09
■使用上のご注意 - 10

組立方法

■組立をはじめる前に - 11
■本体の組立 - 11
■オプション品の組立 - 12
■バッテリーの取り付け - 13
■バッテリーの取り外し - 14

本体のご使用方法

■充電方法 - 15
■タイヤ取り外しでのご使用方法 - 16
■タイヤ取り付けでのご使用方法 - 18

メンテナンスと保管方法

■本体のお手入れ - 22
■保管方法 - 22
■製品の廃棄 - 22

故障かな？と思ったら - 23

梱包内容

■梱包内容（No.AWL101）

本体	ロッド
x 1	x 2
取付けボルト　M10	**充電器**
x 2	ACアダプタ x 1 電源コード x 1
電極ケーブル	**取扱説明書**
x 1	x 1

バッテリーは付属していません。お近くの販売店にてご購入ください。
二輪車用鉛蓄電池 (12V　8.0Ah)　必要数：2 個

■オプション品

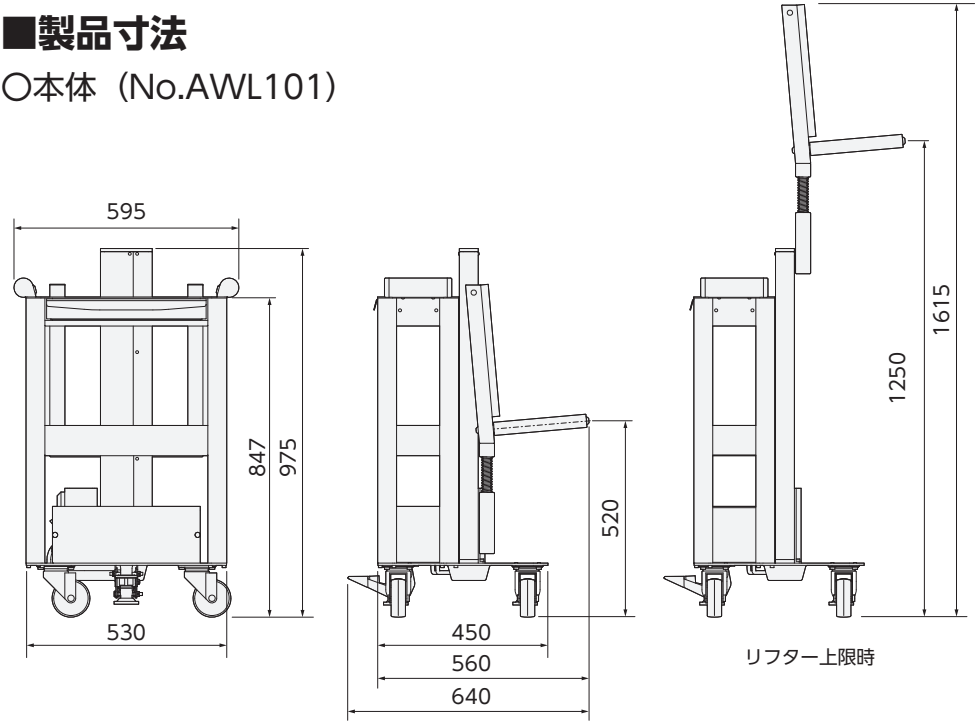
コードレスラチェットホルダー (No.AWL101-2)	コードレスインパクトレンチホルダー (No.AWL101-3)
x 1 x 4	x 1 x 1 x 1 x 2
スプレー缶ホルダー (No.AWL101-4)	**サイドパンチングボード (No.AWL101-5)**
x 1 x 2	x 1 x 4

製品仕様

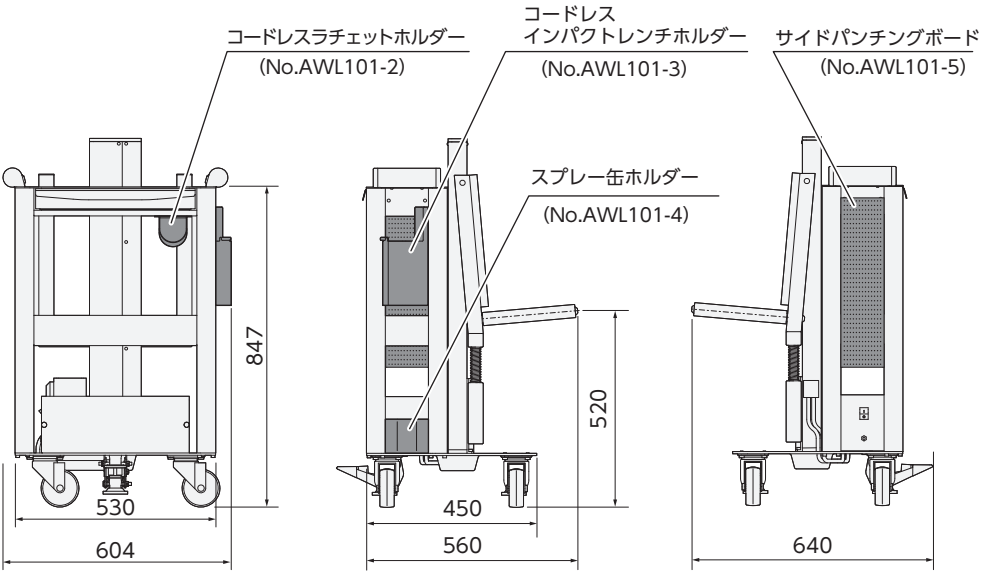
単位：mm

■製品寸法

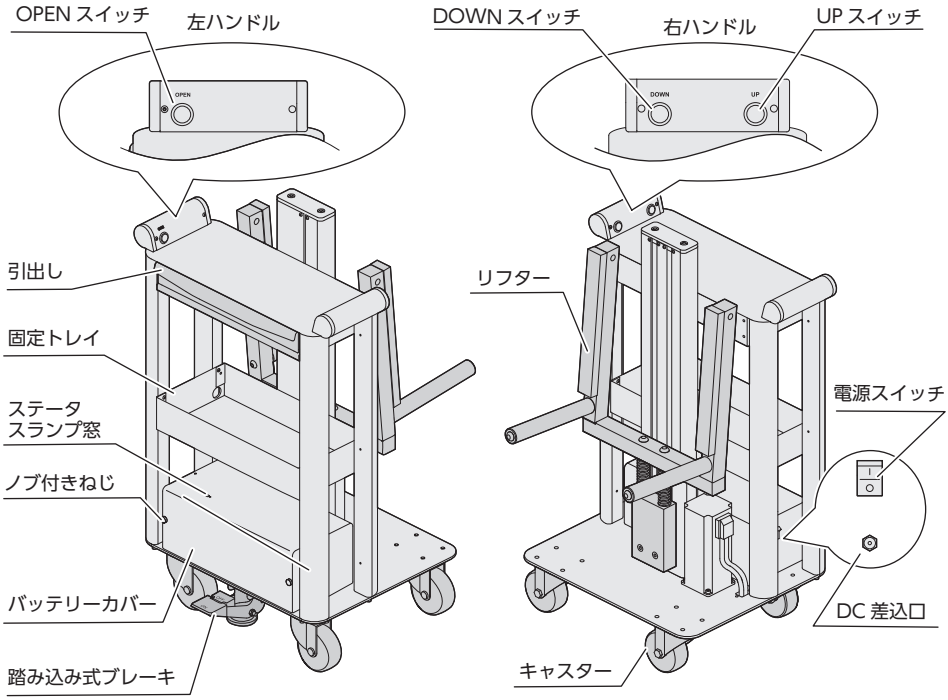
○本体（No.AWL101）



○オプション装着状態 ※リフター上限時寸法は上記寸法と同じ



■本体（No.AWL101）

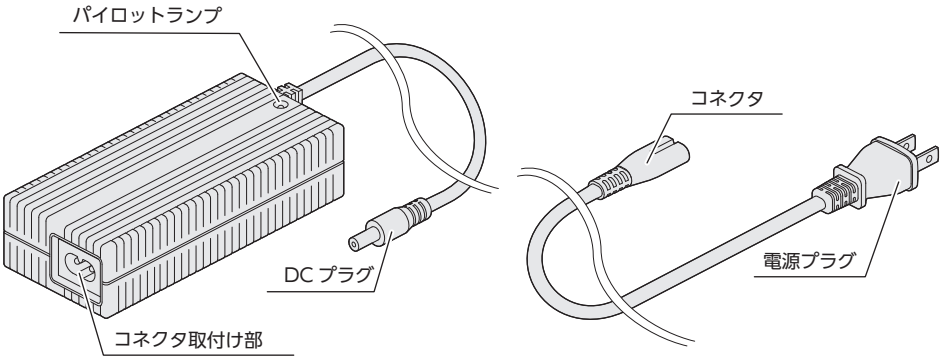


※主な材質
・シルバー塗装部　：アルミ
・黒色塗装部、メッキ部　：スチール

最大昇降距離	730mm
リフター最大積載量	40kg
使用環境温度	0℃～40℃
保管環境温度	-20℃～50℃
保管環境湿度	90%以下　※結露なきこと
重量	本体のみ：61.5kg バッテリー及びオプション品含む：70kg
引出し内寸	194mm × 395mm × 53mm
固定トレイ内寸	420mm × 203mm × 78mm
連続昇降数	約300往復（1往復は、1回上昇・1回下降させたもの） ※使用するバッテリーにより回数は変化します。

バッテリー必要数	2個　※バッテリーは付属していません
バッテリー種類	鉛蓄電池　※その他の種類の電池は対応していません
バッテリー電圧	24V（12V、8.0Ahのバッテリーを2個直列接続）
充電時間	約 8 時間（により変化します） ※使用環境温度、保管環境温度そしてバッテリーにより充電時間は変化します。

■充電器（ACアダプタ+電源コード）



AC アダプタ　　電源コード

入力電圧	AC 100V～240V
入力周波数	単相交流 50/60Hz 共用
出力電圧	29.2V DC
出力電流	2.0A
重量	350g　（AC アダプタ 270 g、電源コード 80g）
出力端子	5.5mm　DC プラグ
極性記号	⊖—◉—⊕

お使いになる前に

■バッテリーに関するご注意

○本製品にはバッテリーは付属していません。お近くの販売店にてご購入ください。
○推奨バッテリー以外をご使用されると、駆動時間や動作に影響が出る可能性があります。
○中古のバッテリーは電圧が安定していない可能性があります。必ず新品をお買い求めください。
○バッテリーご使用の際は、バッテリーの取扱説明書をよく読み、ご使用ください。
○ご使用の前に必ず充電してください。充電方法は本紙 P.15 をご覧ください。
○初回ご使用時に動作が不安定な場合は、電源 ON のまま 4 時間ほど充電してください。

バッテリーは以下の仕様の製品をご購入ください。
二輪車用鉛蓄電池 (12V　8.0Ah)　**必要数　2 個**
充電は 0 ～ 40℃の場所で行う。

■安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を以下のように区分しています。

誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。

誤った使い方をすると、負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。

また、各項目にて以下のマークを付けています。

禁止行為

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するマーク。

必ず行う

製品の取り扱いにおいて、必ず行ってもらう行為を意味するマーク。

注意事項

製品の取り扱いにおいて、注意を喚起するマーク。

確認事項

製品の取り扱いにおいて、事前に確認しておく事項や、使い方の応用を示すマーク。

■安全上のご注意

警告（けいこく）　死亡または重傷を負う恐れがあります。

マーク	事項	危害・損害
⃠	バッテリーカバー内の電子機器に触らない。	ケガや器物破損の原因になる。
⃠	DCプラグ、バッテリー端子などの通電部に触らない。	感電による死亡や重症の原因になる。
⃠	濡れた手で使用しない。雨中で使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
⃠	付属の充電器以外は使用しない。	火災や感電による死亡または重症の原因になる。
⃠	可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	火災や感電による死亡または重症の原因になる。
⃠	暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
⃠	分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
❗	小さい子供がふれない所に保管する。	死亡や重傷、器物破損の原因になる。
❗	本体を必ず固定する。	死亡や重症、器物破損の原因になる。

注意（ちゅうい）　負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。

マーク	事項	危害・損害
❗	定期的に保守点検を行う。	ケガや本体損傷の原因になる。
❗	本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや本体損傷の原因になる。
❗	スイッチが反応しない場合は使用を中止する。	本体や器物の損傷の原因になる。
❗	本体から発熱や異音などの異常を感じたら使用を中止する。	ケガや本体損傷の原因になる。
❗	水平な場所で使用・保管する。	ケガや本体損傷の原因になる。
⃠	引出しや固定トレイから収納物をはみ出さない。	ケガや本体損傷の原因になる。
⃠	本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや本体損傷の原因となる。
⃠	直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	本体損傷の原因になる。
⃠	取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや本体損傷の原因になる。
⃠	化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	本体損傷の原因になる。

注意	負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。	
マーク	事項	危害・損害
	駆動部や充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体損傷、器物損傷の原因となる。
	修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	本体損傷の原因になる。

■使用上のご注意

警告	死亡または重傷を負う恐れがあります。	
マーク	事項	危害・損害
	バッテリーカバー内の電子機器に触らない。	ケガや器物破損の原因になる。
	駆動部に触らない。	ケガや器物破損の原因になる。
	付属の充電器以外使用しない。	火災や感電による死亡または重症の原因になる。
	充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物破損の原因になる。
	ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	水平な場所で使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物破損の原因になる。

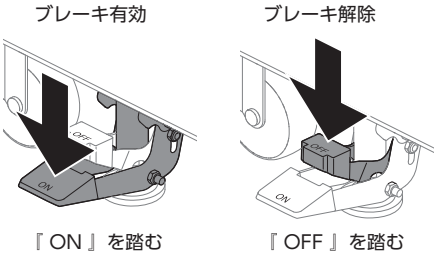
注意	負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。	
マーク	事項	危害・損害
	充電器を使用しないときは、電源プラグをもってコンセントから抜く。	ケガや本体損傷の原因になる。
	充電後は本体からDCプラグ端子を抜く。	ケガや本体損傷の原因になる。
	直流電源やエンジン発電機にACアダプタを接続しない。	火災やケガ、本体損傷の原因になる。
	ACアダプタには100Vの電源を使用する。	火災やケガ、本体損傷の原因になる。
	バッテリーおよび本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	火災やケガ、本体損傷の原因になる。
	充電は0℃～40℃の環境で行う。	ケガや本体損傷の原因になる。
	充電器のコードを持って運ばない。	ケガや本体損傷の原因になる。
	電源コードを熱源に近付けない。	ケガや本体損傷の原因になる。

組立方法

■組立をはじめる前に

○組立作業時は踏み込み式ブレーキを有効にしてください。

○本製品にバッテリーは付属しておりません。お近くの販売店にてご購入ください。



■本体の組立

①ロッドを挿しこむ。

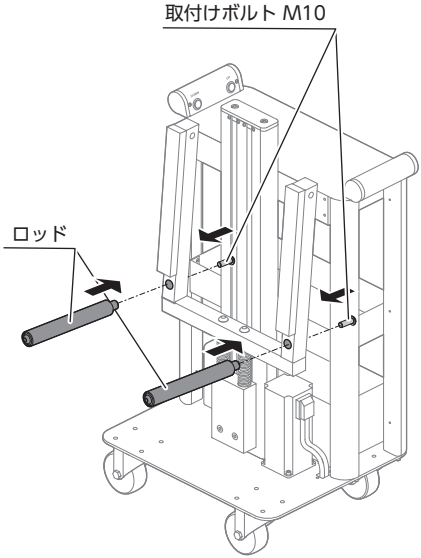
②裏側から取付けボルト M10 を取り付ける。

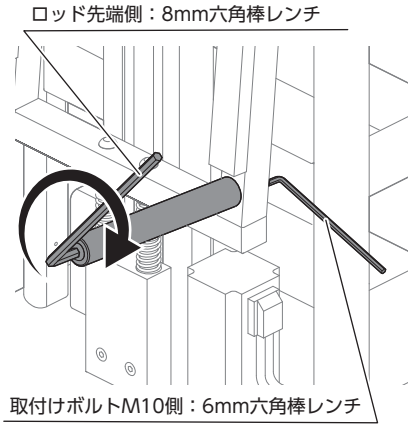
③ロッド先端側に 8mm 六角棒レンチを挿す。

④取付けボルト M10 側に 6mm 六角棒レンチを挿す。

⑤取付けボルト M10 側で供回りを防ぎ、ロッド先端側を時計方向に締め付ける（締結トルク推奨値：29.6N・m）。

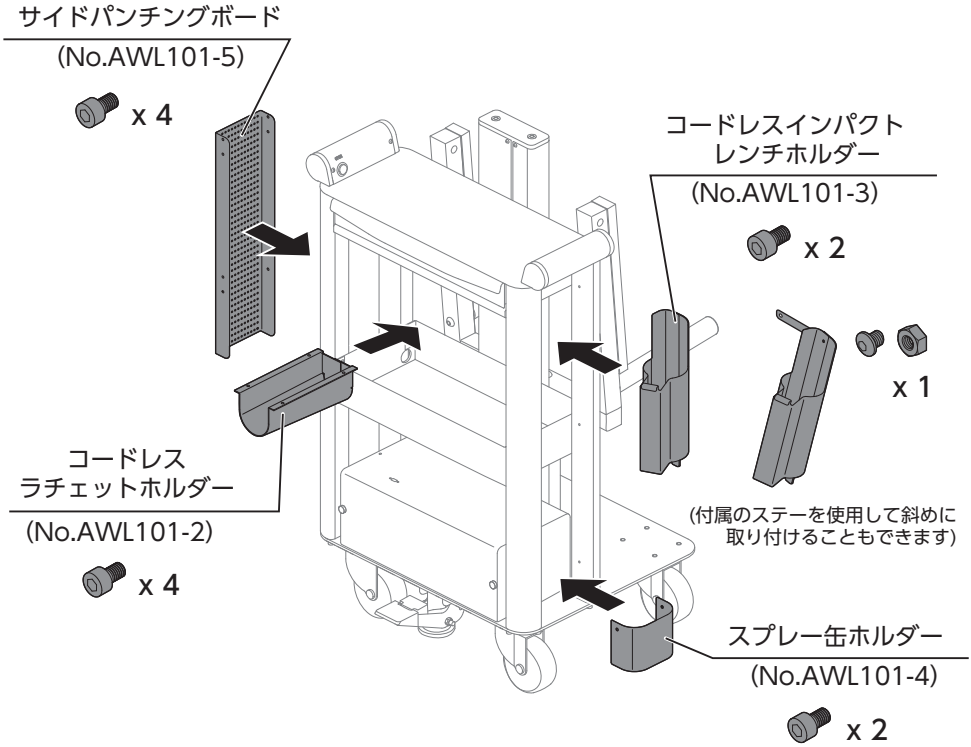
⑥もう一方のロッドも、同様に締め付ける。



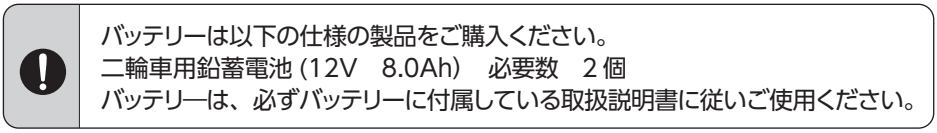


■オプション品の組立

○組立の際は六角棒レンチなどをご用意ください。

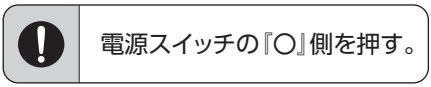


■バッテリーの取り付け



バッテリーは以下の仕様の製品をご購入ください。
二輪車用鉛蓄電池（12V　8.0Ah）　必要数　2個
バッテリーは、必ずバッテリーに付属している取扱説明書に従いご使用ください。

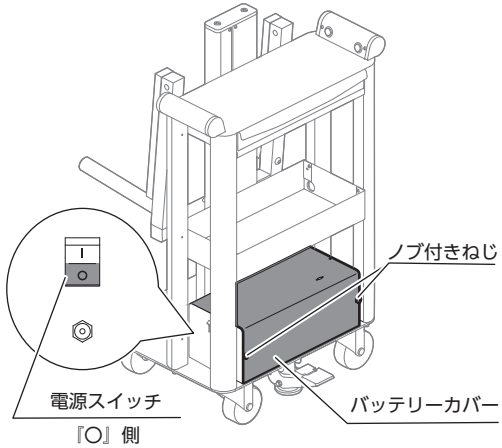
①本体電源をオフにする。



電源スイッチの『○』側を押す。

②ノブ付きねじを2か所外し、バッテリーカバーを外す。

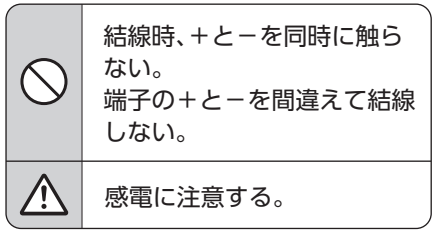
③右下図のように、バッテリーを右壁にあわせ、2個配置する。



④バッテリー（1）の ⊕ とバッテリー(2) の ⊖ を電極ケーブルでつなぐ。

⑤配線ケーブル（赤色）をバッテリー(2)の ⊕ に結線する。

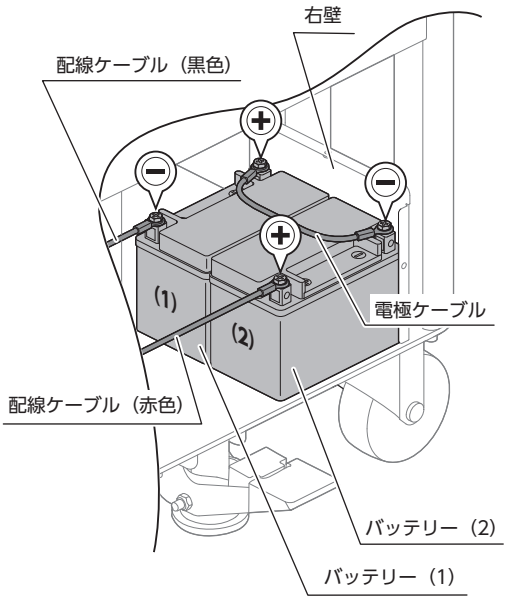
⑥配線ケーブル（黒色）をバッテリー(1)の ⊖ に結線する。



結線時、＋と－を同時に触らない。
端子の＋と－を間違えて結線しない。

感電に注意する。

⑦バッテリーカバーを取り付け、ノブ付きねじを2か所取付けて完了。

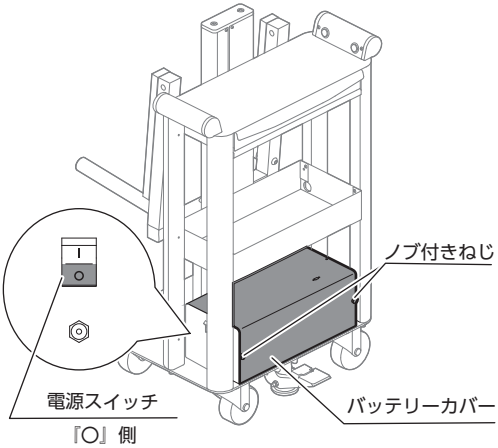


■バッテリーの取り外し

①本体電源をオフにする。

!	電源スイッチの『○』側を押す。

②ノブ付きねじを２か所外し、バッテリーカバーを外す。



③配線ケーブル（黒色）をバッテリー（1）の ⊖ から外す。

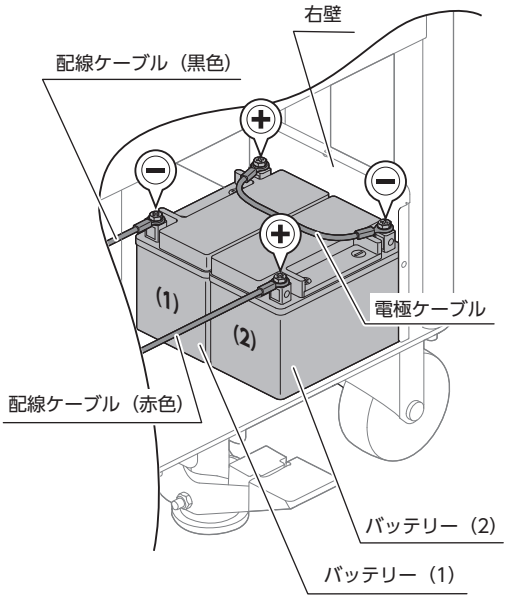
④配線ケーブル（赤色）をバッテリー（2）の ⊕ から外す。

⑤バッテリー（1）の ⊕ とバッテリー（2）の ⊖ をつなぐ、電極ケーブルを外す。

⑥バッテリー２個を降ろす。

⊘	取り外し時、+と－を同時に触らない。
⚠	感電に注意する。

⑦バッテリーカバーを取り付け、ノブ付きねじを２か所取り付けて完了。



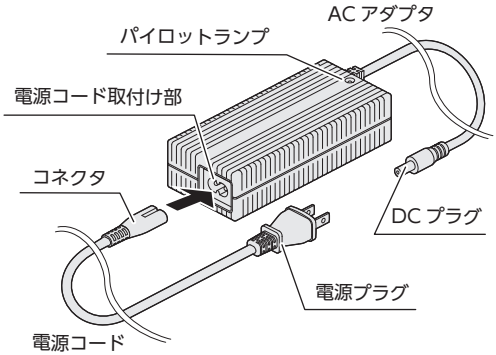
本体のご使用方法

新品のバッテリーをご購入の場合でも、ご使用の前に必ず充電してください。

■充電方法

①AC アダプタと電源コードをつなげる。

電源コードや AC アダプタのコードが切れていないか確認する。

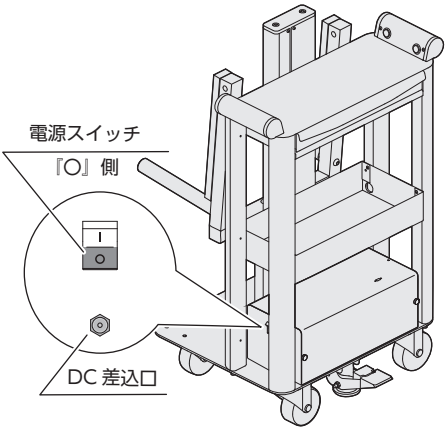


②本体電源をオフにする。

電源スイッチの『○』側を押す。

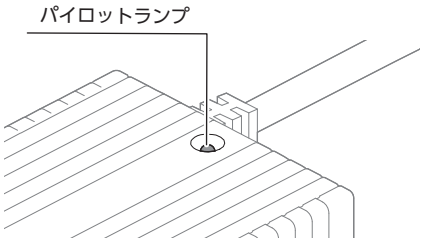
③AC アダプタの DC プラグを本体の DC 差込口に差込む。

④電源コードの電源プラグを 100V のコンセントに差し込む。



⑤AC アダプタのパイロットランプを確認する。

充電しながら、本体を操作しない。



パイロットランプ点灯パターン

⑥充電完了後、コンセントから電源プラグを抜く。

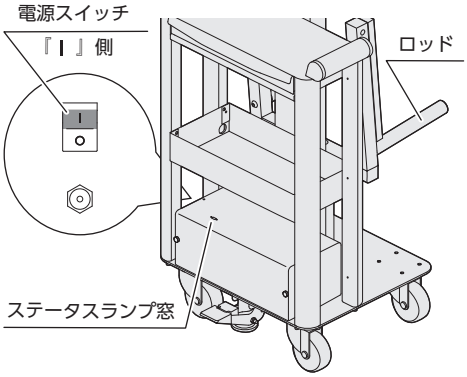
⑦本体から DC プラグを抜く。

赤色点灯	**充電中(完了目安:約8時間)**
緑色点灯	**使用可能**

■タイヤ取り外しでのご使用方法

①本体電源をオンにする。

⊘	充電しながら、本体を操作しない。
!	ロッドにガタツキや緩みが無いか確認する。 電源スイッチの『 I 』側を押す。



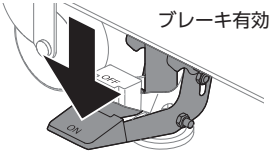
②ステータスランプ窓を確認し、ランプが緑色に点灯しているか確認する。

⚠	1 分以上赤色点滅が続く場合、バッテリー電圧が低下している可能性があります。バッテリーを充電してください。 状態確認中は本体を操作しないでください

赤色点滅	**状態確認中**
緑色点灯	**使用可能**

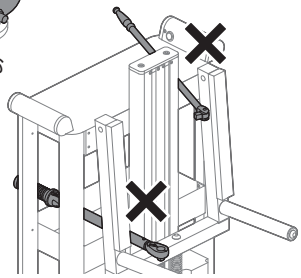
ステータスランプ点灯パターン

③作業位置まで本体を移動し、踏み込み式ブレーキを有効にする。

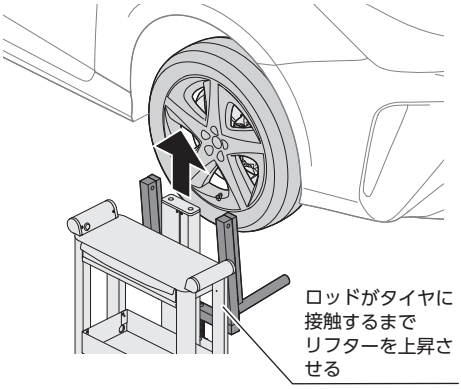


④ハンドル部スイッチを左手でOPEN スイッチ、右手で UP スイッチをそれぞれ押しながら、リフターをタイヤに接触するまで上昇させる。

⊘	リフター可動範囲に物を置かない。 リフターに最大積載量（40kg）以上載せない。 挟み込み防止のため、片手で作業しない。 ロッドがタイヤに接触した後は、スイッチを押し続けない。
⚠	タイヤに接触しても、自動では止まりません。 最大上昇距離（730mm）に達すると、自動で停止します。 上昇の際、『ガコッ』と音がする場合がありますが、性能に問題ありません。

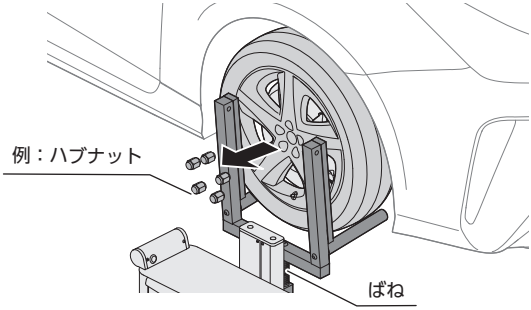


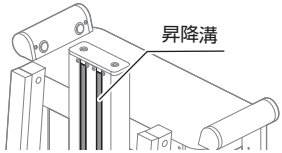
リフターの稼働範囲に物を置かない。
飛び出させない。



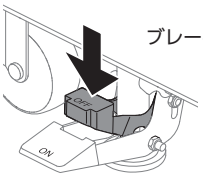
⑤ハブナットまたはハブボルトを取り外す。

	昇降溝にボルトやナット等を落とさない。
	リフターを奥まで差込み、タイヤをしっかり受けてください。
	リフターにタイヤを乗せた際、ばねにより上下に動きます。
	ホイールナットの着脱に便利なナット用トレイやコードレスラチェットホルダー等のオプション品を設定しております。P.05 をご確認ください。



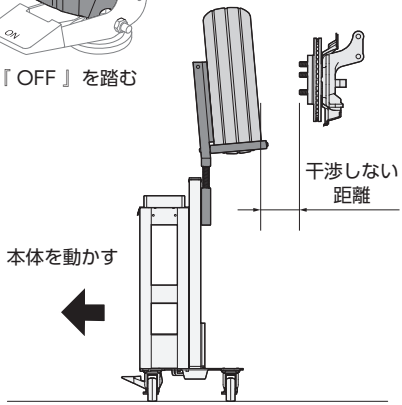


⑥踏み込み式ブレーキを解除する。



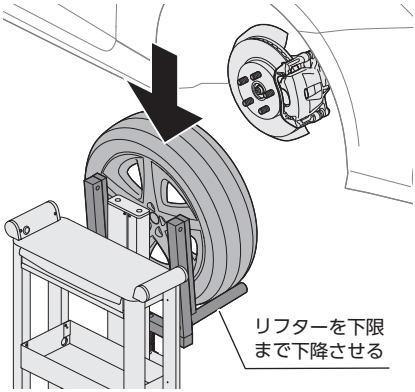
⑦ハブボルトとタイヤが干渉しない位置まで本体を動かす。

	タイヤを高い位置に載せたままでの移動は、タイヤの落下や本体が転倒する可能性があります。移動には注意してください。



⑧ハンドル部スイッチを左手でOPEN スイッチ、右手で DOWN スイッチをそれぞれ押しながら、リフターを下限まで下降させる。

	挟み込み防止のため、片手作業しない。
	下降の際、『ガコッ』と音がする場合がありますが、性能に問題ありません。 下降の際、下限に達すると自動で停止します。

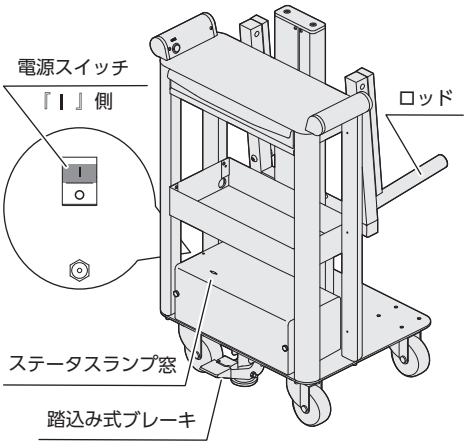


⑨任意の場所で、タイヤを降ろして完了。

■タイヤ取り付けでのご使用方法

①本体電源をオンにする。

⊘	充電しながら、本体を操作しない。
!	ロッドにガタツキや緩みが無いか確認する。 電源スイッチの『 ❙ 』側を押す。



②ステータスランプ窓を確認し、ランプが緑色に点灯しているか確認する。

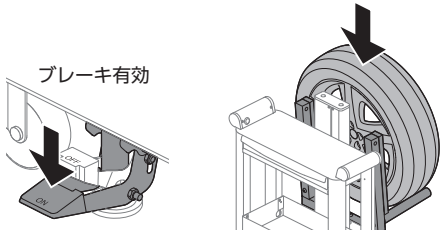
⚠	1 分以上赤色点滅が続く場合、バッテリー電圧が低下している可能性があります。バッテリーを充電してください。 状態確認中は本体を操作しないでください

ステータスランプ点灯パターン

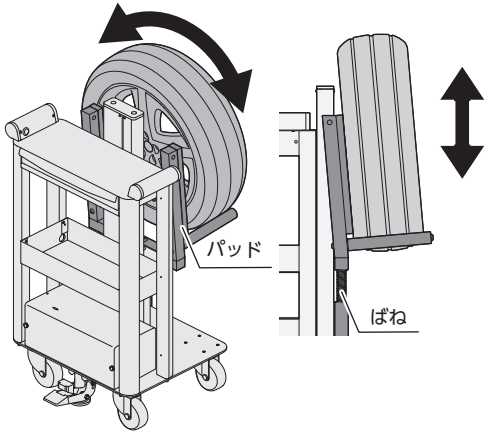
赤色点滅	状態確認中
緑　　色	使用可能

③踏み込み式ブレーキを有効にし、タイヤをロッドに載せる

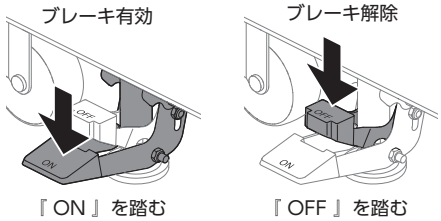
⊘	リフターに最大積載量(40kg)以上載せない。
!	タイヤはパッドにあて、安定させる。
⚠	タイヤを乗せる際、本体の転倒を防止するため、必ず踏み込み式ブレーキを有効にして使用してください。 リフターにタイヤを乗せた際、ばねにより上下に動きます。
✔	タイヤはリフター上で回転できます。 そのため、載せる際にタイヤのボルト穴位置の調整は不要です。



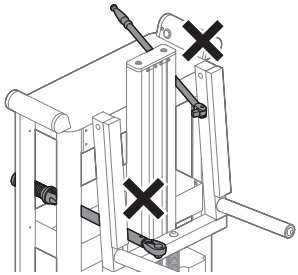
『ON』を踏む　　タイヤを載せる



④踏み込み式ブレーキを解除し、本体を作業位置まで移動させる。
移動後、踏込み式ブレーキを有効にする。

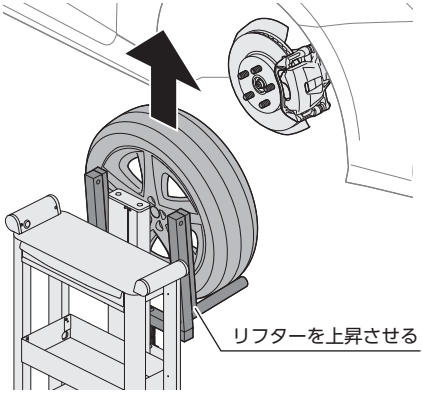


⑤ハンドル部スイッチを左手でOPEN スイッチ、右手で UP スイッチをそれぞれ押しながら、タイヤを取付け位置まで上昇させる。



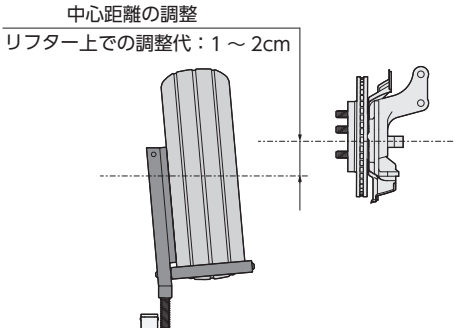
リフターの稼働範囲に物を置かない。
飛び出させない。

🚫	リフター可動範囲に物を置かない。 リフターに最大積載量(40kg)以上載せない。 挟み込み防止のため、片手作業しない。
⚠	最大上昇距離(730mm)に達すると、自動で停止します。 上昇の際、『ガコッ』と音がする場合がありますが、性能に問題ありません。



⑥取付ける車両のブレーキディスク（ドラム）の中心とホイール中心が合うように高さを調整する。

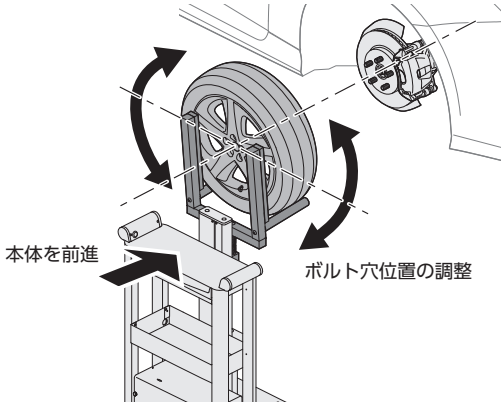
✔	タイヤはリフターに載った状態で、1 ～ 2cm ほど高さ調整が可能です。



⑦踏み込み式ブレーキを解除する。

⑧本体をボルト穴位置を合わせ、前進させる。

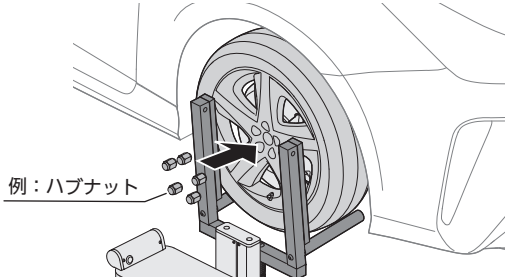
⚠	タイヤを高い位置に載せたままでの移動は、タイヤの落下や本体が転倒する可能性があります。移動には注意してください。
✔	タイヤはリフト上で回転させてボルト穴位置の調整が可能です。

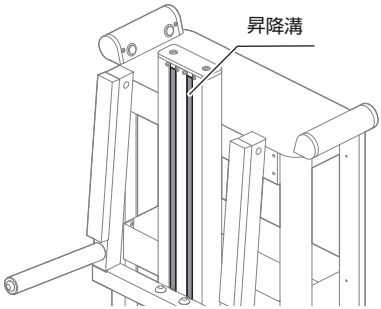


⑨タイヤをブレーキディスク（ドラム）に取り付け、踏み込み式ブレーキを有効にする。

⑩ハブナットまたはハブボルトを取り付ける。

⊘	昇降溝にボルトやナット等を落とさない。
✔	ホイールナットの着脱に便利なコードレスラチェットホルダーやスプレー缶ホルダー等のオプション品を設定しております。P.04 をご確認ください。

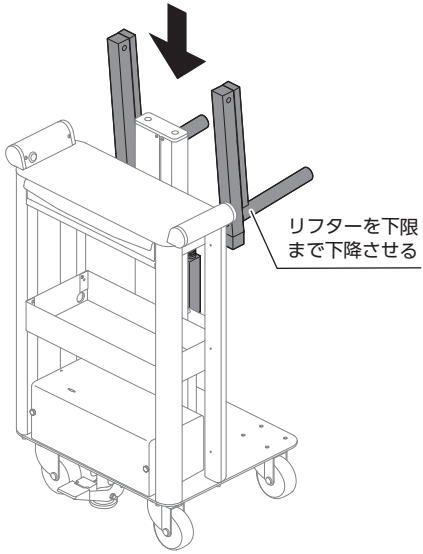




⑪ハンドル部スイッチを左手でOPEN スイッチ、右手で DOWN スイッチをそれぞれ押しながら、リフターを下限まで下降させる。

	挟み込み防止のため、片手作業しない。
	下降の際、『ガコッ』と音がする場合がありますが、性能に問題ありません。 下降の際、下限に達すると自動で停止します。

⑫保管場所まで移動し、電源スイッチを OFF にして作業完了。



メンテナンスと保管方法

■本体のお手入れ

○本体の汚れ

本体が汚れた場合は、柔らかい布などを使用し、拭き取ってください。

シンナー、アルコール、ベンジンなどは使用しない。

○各部の点検

各部のねじの緩み、AC アダプタや電源コードなどの亀裂、破損などの異常が無いか、定期的に点検を行ってください。

○バッテリーの点検

お求めになられたバッテリーの取扱説明書をよく読み、点検を行ってください。

○バッテリーカバー内部の電子機器

バッテリーカバー内部の電子機器は触らないでください。
設定条件が変わったり、電気回路が短絡する可能性があります。

■保管方法

○製品の保管

直射日光が当たる場所、高温・多湿な場所を避けて保管してください。

○長期間ご使用にならないとき

長期間使用せず保管する場合、バッテリーは取り外して保管してください。
また、バッテリーの長期間の保管方法はお求めになられたバッテリーの取扱説明書をご確認いただき、保管してください。

■製品の廃棄

製品の廃棄は廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。
バッテリーの廃棄は、お求めになられたバッテリーの取扱説明書に従い処理してください。

故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら、修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。
症状が改善される場合があります。

症　状	考えられる原因	対処の方法
動かない。操作スイッチが反応しない。	バッテリー残量が少ない。	充電する。
	状態確認中に操作している。	ステータスランプが緑色点灯してから操作する。
操作スイッチを押すと本来と違う動きをする。	スイッチが壊れている。	修理が必要。
リフターの動きが悪い。 上昇中に途中で停止する。	充電されていない。	充電する。
	バッテリー残量が少ない。	
昇降時に異音や振動が発生する。	昇降溝に異物が入り込んでいる。シャフトに汚れが付着している。	昇降溝内部のシャフトの汚れを除去し、潤滑剤を塗布する。
リフターが上限または下限に達しても、モーターが動いている。	昇降溝に異物が入り込んでいる。	修理が必要。
		異物を取り除く。
ステータスランプが赤色点滅し続ける。	充電されていない。	充電する。
	バッテリー残量が少ない。	
充電時、パイロットランプが消えない。 8時間以上充電してもパイロットランプが赤色のままになる。	端子にゴミが付着している。	端子を清掃する。
	充電器が故障している。	新しい充電器に交換する。
	バッテリーが劣化している。	新しいバッテリーに交換する。
踏み込み式ブレーキが解除できない。	摺動部に異物が入り込んでいる。汚れが付着している。	摺動部の異物や汚れを除去し、潤滑剤を塗布する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、ご自身で分解等をなさらず、
ご購入の販売店または KTC 取り扱い店に修理を依頼してください。

KTC